

## 平成27年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	歩いてつながる地域の輪
事業主体 (連絡先)	生坂村役場 健康福祉課 (0263-69-3500)
事業区分	保健、医療、福祉の充実
事業タイプ	ソフト事業
総事業費	1,423,208 円 (うち支援金: 1,067,000 円)

### 事業内容

<ウォーキングコースの整備とマップ作成>

・コース整備

松本大学田邊講師の監修のもと、村内に目的に応じた3コース策定。住民へ歩いている場所・道を聴取し、その情報をもとに、2コース策定。また、残りの1コースは松本大学田邊先生と学生によって策定した。

・マップ作成

表紙には、ウォーキング習慣がある住民を採用。また、ウォーキングの効果と正しい歩き方について、田邊講師による説明を記載し、全世帯へ配布した。

<スタートアップ支援>

田邊講師によるウォーキング教室、ウォーキング用品の貸出事業を実施。ウォーキング手帳の作成。



【ウォーキング情報聞き取り】

### 【目標・ねらい】

- ①ウォーキング環境の整備
- ②普及に向けて広報・啓発

### 事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

①ウォーキング習慣のない住民が、ウォーキングマップに興味を示したり、教室への参加があり、また、ウォーキング物品貸出の申し出があり、意欲向上に繋がったと考えられる。

②コース策定の経過を広報誌に掲載したり、各地区の総会で紹介するなどして、本事業に対する住民の認識が高まった。

### ※自己評価 【A】

#### 【理由】

ウォーキングを継続して行っている住民と関わり、コース策定や表紙に採用したことで、一般住民の関心が高まり意欲向上につながったため。

### 今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

松本大学やウォーキング習慣のある住民と連携しながら、その住民が地域におけるウォーキング普及の核となり、村民の意欲向上に繋げる。そのための広報や啓発を重点的に行い、個々に成果があがれば、それが他の住民へ波及するような取組を工夫うして行う。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある